

○海外情報

## ◎米国の加工用トマトおよびアスパラガス、 春たまねぎの収穫見通し (カリフォルニア州を中心に)

【調査情報部 平成 22 年 9 月 21 日発】

米国農務省（USDA）は、加工用トマトおよびアスパラガス、春たまねぎの収穫見通しについて、以下の通り発表した。

### 1 加工用トマトの契約生産量

カリフォルニア州における加工用トマトの契約生産量は、前年比 6%増の 1,230 万ショートトン（1 ショートトン=907 キロ。以下同じ）、収穫面積は同 12%減の 26.8 千エーカー（1 エーカー=40.46 アール。以下同じ）と見込まれる。また、1 エーカー当たりの収量は、前年の 43.23 ショートトンに対して 6%増の 45.90 ショートトンと見込まれる。カリフォルニア州では、低温と多雨の影響により生育が遅れ、8 月に入っても収穫が行われた。

全米の加工用トマトの契約生産量は、収穫面積が前年比 12%減少するとともに、1 エーカー当たりの収量が 2.20 ショートトン増加したため、同 7%減の 1,280 万ショートトンと見込まれる。

州別に見ると、オハイオ州では、8 月中旬までに収穫の 7%が完了した。ミシガン州では、トマトの作柄は良く、7 月下旬までは夏枯れ病による生育の遅れが報告されていたが、早いペースで生育している報告されている。インディアナ州の加工用トマトは、定植期間中に豪雨に見舞われたが、作柄は良好と報告されている。

表1 加工用トマトの収穫面積および生産量

州名	収穫面積 (エーカー)				収量 (ショートトン/エーカー)			生産量 (ショートトン)				
	2008年		2009年		2008年	2009年	2010年	2008年		2009年		2010年
	合計	合計	うち、契約注)	契約(意向)注)	合計	合計	契約(意向)注)	合計	合計	うち、契約注)	契約(意向)注)	
カリフォルニア州	279,000	308,000	304,000	268,000	42.37	43.23	45.90	11,822,000	13,314,000	13,148,000	12,300,000	
インディアナ州	8,300	9,800	9,800	9,500	30.00	32.79	26.94	249,000	321,340	321,340	255,930	
ミシガン州	3,400	3,400	3,400	3,300	30.00	39.00	35.00	102,000	132,600	132,600	115,500	
オハイオ州	5,800	6,600	6,600	5,200	22.90	30.70	28.40	132,820	202,620	202,620	147,680	
全米合計	296,500	327,800	323,800	286,000	41.50	42.62	44.82	12,305,820	13,970,560	13,804,560	12,819,110	

注：主な業者との契約に基づくものである。

## 2 アスパラガス

カリフォルニア州におけるアスパラガスの生産量は、収穫面積が前年比 8%減少、1 エーカー当たりの収量も同 6%減の約 1.49 ショートトン(3,000 ポンド。1 ポンド=0.45 キログラム。以下同じ)と見込まれることから、同 14%減の約 17,117 ショートトン(3,450 万ポンド)と予測されている。

産地のサリナスバレーとサンホアキンバレーでは、降雨と温暖な気温に恵まれ、生育状況は良かったが、2 月にほ場のぬかるみから収穫が遅れた。7 月の中旬までには、同州の大部分で収穫が完了した。

全米におけるアスパラガスの生産量は、前年比 18%減の約 36,764 ショートトン(7,410 万ポンド)、収穫面積は同 4%減の 28 千エーカーと見込まれる。生産量のうち、青果用は前年比 12%減の約 30,810 ショートトン(6,210 万ポンド)、加工用は同 39%減の 6,000 ショートトンと見込まれる。また、缶詰用は前年比 39%減の 3,100 ショートトン、冷凍用は同 38%減の 2,900 ショートトンと見込まれる。また、総生産高は、前年比 17%減の 7,420 万ドルと見込まれる。

ミシガン州では、生育時期の早い段階における冷害により生育が遅れ、収穫が完了したのは 6 月末であった。

表2 アスパラガスの面積および生産量、生産高(注)

州名	作付面積 (エーカー)		収穫面積 (エーカー)		収量 (100ポンド/エーカー)		生産量 (10万ポンド)		生産高 (ドル/100ポンド)		総生産高 (千ドル)	
	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年
カリフォルニア州	13,000	12,000	12,500	11,500	32	30	400	345	130.00	126.00	52,000	43,470
ミシガン州	11,200	10,700	10,700	10,500	22	16	235	168	70.40	83.00	16,553	13,948
ワシントン州	6,500	6,500	6,000	6,000	44	38	264	228	76.90	73.40	20,302	16,736
全米合計	30,700	29,200	29,200	28,000	31	26	899	741	98.90	100.00	88,855	74,154

注: 生鮮用および加工用を含む。

## 3 春たまねぎ

カリフォルニア州における春たまねぎの生産量は、前年比 3%増の約 126,020 ショートトン(2億5,400万ポンド)、1 エーカー当たりの収量は前年同の約 20.34 ショートトン(41,000 ポンド)と見込まれる。同州の春たまねぎの定植は、12 月までに大部分の地域で始まり、生育期間中には低温と多雨の天候が報告されていた。

今季の全米における春たまねぎの生産量は、収穫面積は前年比 5%減の 25.9 千エーカー、1 エーカー当たりの収量も前年より約 0.94 ショートトン(1,900 ポンド)減の約 14.69 ショートトン(29,600 ポンド)と見込まれることから、前年比 11%減の約 380,044

ショートトン（7億6,600万ポンド）と予測される。また、総生産高は、前年比61%増の3億500万ドルと予測される。

ジョージア州では、12月末から1月の間の低温により春たまねぎの定植が遅れ、その後の5月下旬までの高温の影響により収量は減少した。

表3 春たまねぎの面積および生産量、生産高(注1)

州名	作付面積 (エーカー)		収穫面積 (エーカー)		収量 (100ポンド/エーカー)		生産量 (10万ポンド)		生産高 (ドル/100ポンド)		総生産高 (千ドル)	
	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年
アリゾナ州 注2)	1,600	-	1,600	-	360	-	576	-	11.30	-	6,509	-
カリフォルニア州	6,200	6,400	6,000	6,200	410	410	2,460	2,542	8.60	17.60	21,156	44,739
ジョージア州	12,000	12,000	10,500	11,100	240	205	2,520	2,276	32.90	49.70	82,908	113,117
テキサス州	10,300	10,000	9,100	8,600	330	330	3,003	2,838	26.40	51.80	79,279	147,008
全米合計	30,100	28,400	27,200	25,900	315	296	8,559	7,656	22.20	39.80	189,852	304,864

注1: 主に生鮮用である。

注2: 2010年の予測は中止された。